

3月18日(3)

宮城県の建設新聞社の小島様からメールが届きましたので、皆様にお送りいたします。

----- Forwarded Message

From: 小島・宮城・建設新聞 <ojima@kensetsu-sinbun.co.jp>

Date: Fri, 18 Mar 2011 16:52:36 +0900

To: 米田 雅子 <yoneda@psats.or.jp>

Subject: Re: TRC 情報提供／文字社長が仙台へ輸送(救援物資)

米田先生、建設トップランナー倶楽部の皆様、物心両面でのご支援ありがとうございます。弊社でも、全国青年会議所有志の方々から送られてきた軽油3000リッターを明日、深松君と連絡を取り合って、復旧活動に奮闘している仙台建設業協会に提供します。

被災地ではライフラインが止まっており、食料や衣料品が不足しております。そして何より、普及活動に当たっている建設業の方々の重機に使用するガソリン、軽油が不足しております。いま全国各地からご支援をいただいで感激しております。

いまちょうど18日午後2時46分です。あの悪夢の大地震、大津波から1週間がたちました。きょうも、仙台近郊の大津波で被害を受けた地域取材して回りましたが、建設各会社の車両、重機が瓦礫を撤去し、生活物資を運ぶ道路を拓いています。復興に向けた槌音もかすかながら聞こえ始めました。

いま、米田先生と共同で発行した「日本には建設業が必要です」の目撃者として、今後も、建設地方記者の会の皆様に配信し、全国の人たちに「がんばる建設業」を伝えていきたいと思っています。

小島